

理事通信

編集&発行・西日本区理事事務局

2026年3月号

◇主題

『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』

“Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!”

◇副題（スローガン）

『あなたに寄り添う。あなたを忘れない。』

” Stay with you. Never forget you.



2025-2026 年度
西日本区理事 中井信一

◇理事あいさつ

三寒四温の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。1)皆さまには大変お待たせを致しましたが、『第29回西日本区大会@奈良』の早割登録が2月21日に開始されました。国のまほろば、日本酒発祥の地、静寂と安眠の街、美味しい物も増えていますよ。“行くシカない、奈良”、阪和部、協カクラブ一同が皆さまをお待ちしています。

2)次に、部会等で愚直にお願いを申し上げて参りました、『Y's x SDGs Youth Action 2026』に関しまして2月下旬の状況ですが、西日本区からも11件の応募を頂いています。当初は応募チームも少なく、気をもんでいましたが、ご尽力を頂きましたYMCA、クラブ会長、部長やの皆さまに心よりお礼を申し上げます。これからは、今回から部長の皆さまにも選考委員になって頂いていますので一緒にユースの活動に“伴走”出来る様に選考して参りましょう。3)2月

の活動の中で、皆さまに情報共有をさせて頂きたい2件をお伝え致します。①部会では最後になりました”びわこ部会“(2月15日)@エクシブ琵琶湖にお招きを頂きました。1週間前の降雪が嘘の様な、お天気にも恵まれ、約160名ご参加の皆さまと素敵な一時を楽しみました。AYCに参加された酒井瞳ユースリーダーによる、AYC報告「戦後80年・ユースが平和を考える」、及び薮ワイズ(ヴォーリズ記念館館長)による「YMCAとヴォーリズさん」の講演は多くの学びを頂きました。②奈良YMCAの常議員として、『中日本YMCA役員・評議員・常議員研修会』(2月14日)に参加致しました。「今の若者の課題とかれらの求めているもの」として発題講演を頂き、約50名の参加者が9チームに分かれてグループ討議も行いました。様々な立場の皆さまとYMCA愛も語る良い機会を頂きました。最後に3月はユースリーダーの旅

立ちの時、皆さまのご支援頂いています YMCA でも
卒Y式等が開催されますが、是非ご参加頂き感謝の
気持ちをお伝え致しましょう。又、西日本区事業目標、
献金のご案内です。3月15日が締切りとなっていま

す。どうぞ、献金の目的をクラブの皆さままでご理解を
頂き、ご支援を頂きます様にお願い申し上げます。ご
一緒にYYYライフ、楽しみましょう。



3月強調月間 CS ・ Menettes

地域社会へ目を向けましょう。一つひとつは小さな活動でも
集まれば大きな力となります！

丹吾 礼 地域奉仕・環境事業主任(大阪土佐堀)



ワイズメンズクラブ活動への積極的参加で、メネットもワイズライフ
を楽しみましょう！

大野 智恵 メネット委員会代表(神戸ポート)





ワイズメネット委員会報告

ワイズメネット委員会代表 大野智恵(神戸ポート)

<ベルマークを通しての繋がりで YMCA 支援>

先月、広島クラブのメネット活動で集められていたベルマークが、六甲部へ送られてきました。

今までも何度も六甲部の「ベルマークを集めて YMCA 支援」に協力してくださっています。部を超えての繋がりはとても嬉しく、温かなものを感じました。また、元京都ウエストクラブの女性メンバー(残念ながら昨年他界されました)が、生前集めてくださっていたベルマークを、お嬢様がわざわざ送って来てくださり、そのお気持ちに心打たれました。それぞれの活動に心を寄せ、協力し合うことで、良い繋がりが生まれます。

お送りくださったベルマークを用いらせていただき、YMCA の学童保育で必要なものを購入し、子供たちに喜んでもらいました。ありがとうございました。

広島クラブのメネットさんは、事情によりメネット会は解散されたとのことですが、今でも集まって一緒に楽しい時間を過ごしておられると伺いました。長年のワイズにおけるご奉仕と親睦によって、かけがえのないお仲間となられたということですね。

ワイズメネットのプログラムへのご寄付をお願いいたします!

ワイズメネット国際プロジェクトにご賛同いただけるクラブからのご支援をお待ちしています

～メネットもワイズライフを楽しみましょう～

<2024-2026 国際ワイズメネットプロジェクト>

ルーマニア YMCA によるウクライナの青少年支援



国際ワイズメネットとルーマニアYMCAは、教育、福祉、文化交流を融合させた変革的な放課後プログラムを通じて、ウクライナ難民の子どもたちに希望と癒しをもたらしています。

部 会 報 告

びわこ部 部会

第30回 びわこ部会

西日本区最後の部会を2026年2月15日に開催いたしました。昨年秋には滋賀県内各地で国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会が開催されたため、日程を大幅に遅らせての開催となりました。2月の開催ということで雪の心配もありましたが、当日は春の訪れを感じるほどの温かさでしたが、1週間前は日中でも氷点下の極寒気温でしたので、本当に天候に恵まれたと思っています。各部から大変多くの方々に登録をいただき、お蔭様で最終的に159名のご参加のもと賑やかなびわこ部会となりました。

びわこ部6クラブの会長によるバナーセレモニーでスタートし、来賓としてご臨席を賜りました、田島一成彦根市長、中井信一西日本区理事、久保田正紀滋賀YMCA代表理事の皆様からご祝辞を頂戴し、ご臨席の西日本区役員の皆様のご紹介の後、今期残念ながらご逝去されたメンバーのメモリアルアワーに続き、昨年7月30日から8月3日まで、熊本YMCA阿蘇キャンプ場で開催されたAYC2025、アジア太平洋地域ユースコンボケーションに参加されました、滋賀YMCAのユースボランテ

イアリーダー ミューリーダーこと酒井瞳さんより活動報告を行っていただきました。今回のAYC2025のディスカッションのテーマは、PEACE・平和です。

東・西日本区から20名、海外から10数名のユースが参加され、プログラムの進行や発表など会話全てが英語でしたが、持ち前の語学力を発揮され参加者の中でも信頼のおけるリーダー役として活躍されていました。続いて西日本区クリスチャニティー委員会委員長でもあり、近江八幡アンドリュース記念館館長でいらっしゃいます近江八幡クラブ藪 秀実ワイズによる講演をいただきました。昨年はウィリアム・メレル・ヴォーリズ来日120周年を記念して県内各地で記念事業が開催されました。YMCAとは非常に関係の深いヴォーリズについて、「YMCAとヴォーリズさん」～ヴォーリズが滋賀のYMCAを創ったのではなくYMCAがヴォーリズをつくった～を拝聴いたしました。その後、YMCAの歌、閉会点鐘で第1部を閉じました。

会場準備の都合で約30分の休憩を挟んで第2部の懇親会のオープニングは、金管合奏団「ぽんぽこ」による演奏。宇宙戦艦ヤマトや糸、北酒場などお馴染みの曲を演奏していただきました。続いてシャトークラブ山本会長代行の挨拶の後、岡村遍導びわこ部直前部長兼滋賀蒲生野クラブ会長兼次期西日本区理事の乾杯により祝宴の始まり。厳選した滋賀の地酒を6本用意したところ、あっという間に1本、また1本と空になっていきます。お酒も入り会話も弾んでいたところで、サプライズタイムの始まり。俗にいう抽選会です。プログラムには南の九州部から順に参加者名簿を掲載し、予め



氏名の横に番号を記載しており、これがラッキー番号となるようにしました。

賞品は、滋賀の地酒5名様、滋賀の珍味である鮎ずし3名様、そして絶対的に美味しい近江牛を3名様。といった内容で、も～要らないと思っていたプログラムが必要ということで皆さんカバンの中から取り出してワクワク。来賓の中井西日本区理事、久保田滋賀YMCA代表理事、岡村次期理事にクジを引いていただきました。最後に各部会のアピールタイムの折に、「びわこ部会はバレンタインデーの次の日ですよー。」と叫んでいたのもので、部長賞としてチョコレートを田上アジア太平洋地域会長に抽選していただきサプライズタイム終了。

ここからはアピールタイム。西日本区大会や部会、ラオスにYMCAを!等のアピールに続いて、参加各クラブ紹介でも盛り上がりました。

最後は参加者全員で手をつないで会場内に大きな輪を作り、みんなで「琵琶湖周航」を大合唱して「西日本区は1つ」になれた気がしました。締め挨拶は杉山実行委員長による皆様へのお礼の言葉で閉じさせていただきました。

多々至らぬ点があったとは思いますが、ご容赦いただければ幸甚です。ありがとうございました。

びわこ部部長 安澤 勝



聖句・聖書小窓 2026年3月号 「聖書の小窓「愛を深めていく」



ユダ 1:2

憐れみと平和と愛が、あなたがたにますます豊かに与えられるように。



西日本区チャプレン 立野 泰博

手紙を書くときはまず「挨拶」を書きます。聖書の挨拶で「愛」がでてくるのは、ユダの手紙のみです。神様に守られている人々に「憐れみと平和と愛」が「ますます豊かに与えられ」るようにと祈っています。

フランス格言に「愛はいつも、いつそう深まっていくか、だんだん冷えていくかのどちらかである」というのがあります。

この愛は、恋愛のことか、結婚生活のことか。または、家族、友達のことなのか。どちらにせよ「愛」を深

める努力をしないと教えているのでしょうか。さもないと「だんだん冷えていく」のです。冷えていく愛ほど恐ろしいものではありません。

ワイズで愛を深めることをしていますか。愛の反対は「無関心」とマザー・テレサは言いました。お互い大切な存在として関心を持ち、深まっていく愛を感じていたいものです。ワイズ活動に関心を持ち、ワイズ愛を深めてまいりましょう。



YMCA ニュース

西日本区担当主事

大澤篤人(東京ひがし)



能登半島災害支援リフレッシュキャンプ報告

～YMCAと災害支援～

2024年1月の地震災害、また9月の豪雨災害と、2度の大災害に見舞われた能登半島への被災地支援活動を、YMCAでは発災直後から継続してまいりました。特に2025年度は、日常生活が大きく変化し、今なお様々な体験の機会を失っている被災地の子どもたちを対象として、現在の不安定な状況から来る不安からひと時解放されリフレッシュすることなどを目的に、リフレッシュキャンプを実施してまいりました。

○2025年8月「能登立山フレンドシップキャンプ」

活動報告（日本YMCA同盟HP）：

<https://www.ymcajapan.org/topics/20250905/>

2024年8月に行われたリフレッシュキャンプに引き続き、滋賀YMCA及び富山YMCAのディレクターシップのもと開催されました。キャンプでは自然の中で協力しながら小さな発見をするためのビンゴカードを片手に行うハイキングや、みんなで声を掛け合い励まし合いながら行う軽登山など、YMCAが大切にしている小集団のグループワークを通じた非日常活動を体験しました。当初は2024年のキャンプ参加者からのリピーターが多くご参加いただくものと想定しておりましたが、実際には22名の申込者の内リピーターは7名にとどまり、YMCAにつながっていないが、YMCAのプログラムを必要としている方が多くおられることがわかりました。

○2026年1月「立山スノーブリッジスキーキャンプ」

活動報告（日本YMCA同盟HP）

⇒<https://www.ymcajapan.org/topics/20260115-2/>

能登半島の地には、YMCAプログラムへのニーズがまだあることを受け、冬季スキーキャンプを実施いたしました。能登は雪の多い地域のため、能登からの参加者は雪にはなれていましたが、ほとんどがスキー未経験の中、2日目には全員がリフトに乗って斜面を滑り降りてくることができました。能登からは4

回目のリフレッシュキャンプで最多となる38名の申し込みがあり、リピーターは16名と、このキャンプで22名の新たな子どもたちがYMCAにつながってくれたこととなります。多くの初参加の方が口コミで集まっていたいただいたとのことで、これまでのYMCAの関わりが地域の方の信頼を得ていたこともうかがい知れました。

これらの活動は、すべて能登半島災害支援募金を活用し、実施しております。ワイズのみなさまには、現地における支援活動、YMCAへの災害支援募金など、数え切れない多くの支援をいただき、心より感謝申し上げます。

YMCAではこれまで数多くの災害支援活動を実施してまいりました。現在のYMCAには様々な災害支援のノウハウがございますが、当初はノウハウがあるから支援をしていたわけではなく、ただただその時にその場所で必要とされていた活動を必死に行って来たものです。2023年には関東大震災100年の節目の年に、当時の資料からYMCAの災害支援活動の原点となった当時の活動の様子をまとめ、公開しております。

<https://www.ymcajapan.org/about/history/1923kanto-daisinsai/>

今年3月11日は、東日本大震災から15年の節目の年ですが、現在も福島県の一部地域では原発事故の影響で立入りが制限されている地域も残り、今なお困難な状況に置かれている方々がおられます。能登半島や福島などに限らず、災害被災に苦しむ方々を覚え、祈り、寄り添い、善意や前向きな気持ちによってつながる「ポジティブネット」をこれからも広げてまいります。引き続きご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

能登半島災害支援活動の軌跡はこちら
(https://www.ymcajapan.org/noto_sien/)

YMCAの災害被災地支援についてはこちら
(<https://www.ymcajapan.org/society/relief/>)

ワイズ戦略委員会、戦略 2032 戦略の基本 2



アジア太平洋地域会長
ワイズ戦略委員会委員長
田上 正(熊本むさしクラブ)

戦略 2032 では近代化すべきこととして、以下の 9 つの事項を掲げています。

- 1) 私たちのアイデンティティと広報戦略
- 2) 私たちのクラブの親睦と活動
- 3) 私たちの奉仕モデルとクラブの目的
- 4) 私たちの内外との連携方法
- 5) 私たちの YMCA とのパートナーシップモデル
- 6) 私たちのファンドレイジングモデル
- 7) 私たちの国際本部の機能
- 8) 私たちの国際憲法
- 9) 私たちのニューノーマル下での運営体制、
以上の 9 項目です。

私たちはワイズメンズクラブをどのようにメンバー以外の人に紹介しているのでしょうか？ワイズのパーパスブランディングとして長い間検討されてきました。これが確立しないと、広報の時に支障をきたします。皆様が使用しているクラブ紹介や部紹介のパンフレットなどにはなんと記載されていますか？もっとインパクトがあるシンプルな言葉はないでしょうか？

クラブの親睦と奉仕活動のバランスはどうでしょうか？親睦のエネルギーを奉仕に！とは言うものの、うまく奉仕に向けられていますか？奉仕自体が負担になっていませんか？クラブ親睦の基本は例会にあり、奉仕はインパクトがあり長続きするものでありたいと思います。

ワイズメンズクラブ同士での連携やほかの団体や行政との連携はうまくいっていますか？奉仕活動を何も一つのクラブでしなければならないことはありません。自治体の呼びかけに応じて一緒にできることはないか、ほかのワイズメンズクラブと合同でできるものはないかなど考えてみましょう。

YMCAとのパートナーシップモデルは「お互いに負担をかけず、お互いの良さを引き出す」を基本的な考えにしたいものです。ワイズとYMCAとの交流やコミュニケーションを見直してみましょう。

ファンドレイジングは何か持っていますか？せっかく日本中のワイズとの交流があるのですから地元ならではの品物を他の地域のワイズに販売したり、その逆もできますね。十勝クラブ、北海道YMCAとの協働ファンドであるジャガイモは歴史がありファンの多いファンドです。

国際本部はどこにあるかご存じですか？国際憲法を読んだことはありますか？西日本区定款もアジア太平洋地域定款の国際憲法の範囲ないであり逸脱することはありません。

これらの近代化された状況下での私たちのクラブの運営体制を考えてみましょう。

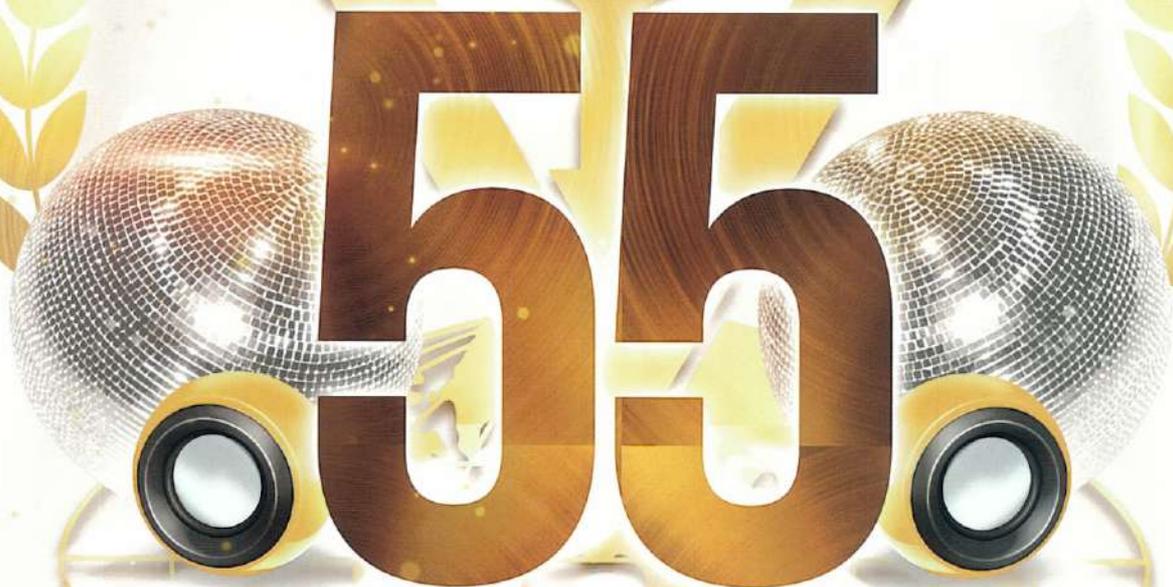


2025～2026 年度 第 29 回 西日本区大会及び関連行事予定

行事名	開催日	曜日	会 場
前夜祭	2026 年 6 月 12 日	金	KOTOWA 奈良公園
区大会	2026 年 6 月 13 日	土	なら 100 年会館
区大会(懇親会)	2026 年 6 月 13 日	土	ホテル日航奈良
第 4 回区役員会	2026 年 6 月 13 日	土	ホテル日航奈良
第 2 回区準備役員会			
区年次代議員会			
元理事懇談会			
担当主事の会			
メネットアワー			

KYOTO PALACE

INTERNATIONAL



ANNIVERSARY

2026年4月18日[土]

京都パレスワイズメンズクラブ
55周年 記念例会

ホテルオークラ京都

16:00~



大阪サウススイズメンズクラブ

創立70周年記念式典・祝会



会場：シティプラザ大阪 2階 旬の間
大阪府大阪市中央区本町橋 2-31

2026年 4月18日 (土)

受付 11:00

開会 11:30

閉会 14:45

参加費 12,000円



ワイズメンズクラブ国際協会
第29回西日本区大会
メネットアワー



©国際協力NGOジョイセフ

ランドセルに 思いをのせて

～アフガニスタンのこどもたちに
学びの機会を～

講師 櫻井 啓子氏 〔東日本区
下田クラブメネット〕

国際協力NGO JOICFP(ジョイセフ)理事

日時：2026年6月13日（土）

10：00～11：30（終了後会食）

場所：ホテル日航奈良 羽衣の間

会費：2,000円

世界の妊産婦と女性の命と健康を守る活動をしている国際協力NGO JOICFP（ジョイセフ）では、日本で役目を終えたランドセルをアフガニスタンに寄贈し、子どもたち、特に教育の機会に恵まれない女の子の就学に役立てる国際支援活動である「思い出のランドセルギフト」に取り組んでいます。この活動は2004年にはじまり20年を迎えました。

ワイズメンズクラブでは、その趣旨に賛同し、東京むかでクラブ・石巻広域クラブ・神戸ポートクラブ・奈良クラブと有志メンバーで構成された実行委員会で熱心に取り組んでいます。



メネット活動の共有と親睦・交流を計画しています。
奮ってご参加ください。



西日本区ワイズメネット委員会代表

大野 智恵（神戸ポートクラブ）





ワイズメンズクラブ国際協会 第29回西日本区大会のご案内

“Let's enjoy the YYY life together” —BE Y's IN NARA—

【前夜祭】 2026年6月12日（金）

受付開始：17時45分、開会：18時30分（会場 KOTOWA奈良猿沢池）

【開催日】 2026年6月13日（土）

役員会他：8時30分、代議員会：10時（受付開始：9時30分）、メネットアワー：10時
大会受付開始：11時30分、バナーセレモニー：12時45分
懇親会（ディナーパーティー）：18時00分～20時25分

【会場】 なら100年会館（大会）、ホテル日航奈良（13日午前、懇親会）、KOTOWA奈良公園（前夜祭）

【お誘いのメッセージ】 2025-2026年度 西日本区理事 中井 信一

29回西日本区大会を、6月13日に奈良での開催と企画致しましたので、皆さまにご案内申し上げます。理事テーマ『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』とお伝えし、“Let's enjoy the YYY life together”として臨みましたこの1年の集大成に向け、阪和部、協カクラブ一丸となって準備を進めて参りました。久し振りの 国のまほろば、奈良の地にて 未来を語り、YYY 一人お一人が主役として一緒に大会を盛り上げ楽しみましょう。そして、奉仕を通じて地域社会に貢献する、世界的な友好団体ならではの交流と親睦の醍醐味を皆さまと共に存分に味わえる事を期待しております。多くの皆さまのご参加を阪和部メンバー一同より願ひ、お誘ひ申し上げます。

【登録申し込み】

各クラブで取りまとめて頂き、参加申込書にご記入の上、メール添付にて申し込みをお願いします。送付先は参加申込書に記載しています。早期受付は2026年2月21日（土）～4月12日（日）迄、早割割引等の特典が多数ありますので、是非早い日の申込をお勧めします。なお、登録申込書は、早期とそれ以降の2種類ありますので、よろしくお願ひいたします。奈良にて開催される西日本区大会が素晴らしい大会となる様に実行委員一同、準備してお待ちしています。

第29回西日本区大会実行委員長 濱田 勉

ホストクラブ：奈良クラブ

サブホスト：和歌山クラブ、大阪サウスクラブ、大阪河内クラブ、大阪長野クラブ、
大阪泉北クラブ、和歌山紀の川クラブ

協カクラブ：京都トップスクラブ



Let's enjoy



ワイズメンズクラブ国際協会

第29回 西日本区大会

2026年 6月13日 土

なら100年会館
ホテル日航奈良

6月12日 金

前夜祭
KOTOWA奈良公園 *Premium View*

ホストクラブ：奈良クラブ

サブホスト：和歌山クラブ

大阪長野クラブ

協力クラブ：京都トップスクラブ

大阪サウスクラブ

大阪河内クラブ

大阪泉北クラブ

和歌山紀の川クラブ